

# 6/23 白鷹町議会が行政視察に来庁



活発に意見をだしあった交換会

白鷹町議会活性化特別委員会の皆さんが活性化対策視察のため来庁しました。白鷹町議会は、「議会だより」の全国コンクールで入選している実績があり、議会中継のインターネット配信整備など先進的な取り組みをしています。

当町議会からは、「住民と歩む議会を目指して」を柱とした取り組みを以下のように説明しました。

- ・一般質問は、対面式の一問一答方式で60分。
- ・定例会においての課別審査は公開とするため、議場において全員協議会で行っています。これにより、定例会中いつ町民の方においでいただいても議会が傍聴できるようになりました。
- ・広聴活動としておこなった、農業委員会・建設業界・商工会との懇談会は好評でした。

白鷹町とは、母なる最上川でつながっている地域性もあり、今後ともお互いの町の問題解決のために頑張っていくと話し合い、有意義な懇談会となりました。



どう変わる大石田町の未来(大石田中屋上より)



大山 二郎 議員

## 町の将来をどう考える 町長：文化的な生活インフラ整備をしていく

### 自立計画書の問題は

自立計画書を検証しているか。  
町長 特別な課題もないため「町行財政改革本部会議」の中で、順次計画された事業内容を年度ごとに検証しながら進めている。

計画の達成率は、町長 進捗状況は70%を超えていると思う。

成長戦略を入れた新たな自立計画を作り、着実に実行していく必要がある。町長 自立計画を見直すのではなく、未達成の事業と併せて第6次総合振興計画に盛り込んでいく。

### 自立計画を作るきっかけとなった合併破談。今どう考えている。

町長 当時の状況と今は違うが特に少子高齢化は加速し社会も変化している。これからも合併とは言わないが、現政権下でいう財源の一括交付金化ができれば、合併ではなく広域連合で地域開発していく必要があると思う。

町の発展があつてはじめて住民サービスが向上する。そのために成長戦略計画が必要だ。町長 人口定住政策、土地開発計画等意識的に高い町を作っていくことをテーマとしたい。

### 廃校利用問題は

行政はスピードが大切、やるのが遅い。自立計画にある廃校舎の利活用、給食センターの民営化、PFI活用などについて、町長 廃校利用検討委員会は早急に立ち上げていくし、給食センターの民営化は進めていくが、職員の問題との関係から決まっていない。しかし今年度中に目途を付けたい。PFI方式については引き受け手が無いのが現状。

次世代育成支援行動計画はどこまで達成できているか。  
町長 全て検証していないが、小学6年までの医療費無料化は23年度予算

### 独自事業は

に組みよう指示している。

流雪溝・駅前・下水道・統合中学等いずれも町長就任前からの継続事業。独自にやってきたものは、町長 学校の教育環境整備に全力を傾けてきた。今後は行政施策に潤いを持たせ文化的な生活インフラ整備をおこなっていく。

**用語解説**  
※PFI方式とは、建設、設備、運営、維持管理、修繕等の民間事業者が、公共施設等の建設、設備、運営、維持管理、修繕等の業務を担い、一定期間、その施設等を運営し、その間に投資した費用を回収し、利益を得る方式のこと。

## 出向議員からの報告

《北村山公立病院組合議会》 (大山二郎議員)  
平成22年度事業会計予算、55億4千万の収支均衡予算が示され可決された。しかし、未だ医師不足は解消されず、外来・入院患者ともに前年度比マイナス予想となっている。

地域の核となる病院だけに、充実した医療サービスができるよう今後とも医師確保に全力で取り組むよう要望された。他に監査委員と事務局長の選任について上程され可決された。

大石田町の昨年の利用率は10%、今年の実質負担額は1130万円です。

《環境衛生事業組合議会》 (齋藤公一議員)  
尾花沢市大石田町環境衛生事業組合平成22年度定例会が3月19日に開催された。審議された議案は、6議案で全議案とも原案のとおり可決された。

平成22年度一般会計予

《北村山広域行政事務組合議会》 (芳賀 清議員)  
3月23日に開会された平成22年度第1回定例会の主な議決事項は次のとおりです。

22年度一般会計予算は1億1938万円で、新生園の長期償還が終わつたため前年度より減となっている。

事務組合経費の当町負担金は、1293万円で、他に条例の一部改正が出された。慎重審議の結果、全議案とも原案どおり可決され、即日終了した。

算は7億7537万円で大石田町の分担金は、1億8029万円です。公共下水道特別会計は、6億8539万円です。水道事業予算は、4億4696万円です。